

科目名	担当教員	学期	単位
政治学フランス語文献研究B	押村 高	後期	2

講義概要

フランス語で書かれた政治学の文献を講読しながら、フランスの政治的叡智について考えてみたい。本年度は、Roger Sue, *La Societe Civile face au Pouvoir* (『政治権力と向き合う市民社会』)のうち、昨年度の未読部分を講読する。

著者は、主権、行政府、大企業によるデモクラシーの侵食という現象に臨んで市民的空間が果たすべき役割とは何か、また代表制度の改良や強化によってデモクラシーをどこまで再活性化することができるのか、などの問題を制度的、思想的に論じている。関連の仏語文献も併用する予定である。

シラバス

- 第1回：フランス政治学の独自性
- 第2回：なぜ新しいデモクラシーが必要なのか (1)
- 第3回： (2)
- 第4回： (3)
- 第5回：なぜ政治は危機に陥ったのか (1)
- 第6回： (2)
- 第7回： (3)
- 第8回：社会的連帯の新しい形 (1)
- 第9回： (2)
- 第10回： (3)
- 第11回：社会的連帯から社会運動へ (1)
- 第12回： (2)
- 第13回： (3)
- 第14回：予備日
- 第15回：まとめ・評価・他

教科書

Roger Sue, *La Societe Civile face au Pouvoir*, Presses de Sciences Po., 2003

参考文献

評価方法

学期末のレポート+討論への参加・貢献度

関連URL

備考